

## 旧RD最終処分場問題に係る住民と知事の意見交換会の開催結果

- 日 時 令和2年12月23日（水）19：00～20：48  
■場 所 栗東市総合福祉センター（なごやかセンター）集会室

## 【知事挨拶】

長期間にわたり皆様方にご心配とご迷惑をおかけし、知事として改めて深くお詫びを申し上げます。本当に申し訳ございませんでした。

## 【主なご質問・ご意見と回答】

- 1 テーマ1「着工前の県の対応について」
  - ・ 当時の経緯や県の至らない点、県政の改善、県職員への聞き取り等についてご意見をいただきました。
  - ・ 知事からは、総じて反省すべきことばかり、初期対応が大変まずかった、皆様には多大なご心配とご迷惑をかけた、皆様のお考えやお気持ちに十分に寄り添っていたのか、また結果的に県政に対する不信感が募り信頼を得ることに至らなかったことがあるということからすれば反省すべき点が多かった、事案総括のためにも当時の職員からヒアリングすることも重要だと思うのでどのようなやり方がよいのか考えたい、とお答えしました。
- 2 テーマ2「対策工について」
  - ・ 対策工法や経堂池等の水質調査、基本方針、有効性確認等についてご意見をいただきました。
  - ・ 知事からは、今後はこれまで行ってきた工事がきちんと効いているか確認するため水質・大気のモニタリング調査を実施するとともに引き続き旧処分場内の浄化を進めていきたい、廃棄物を残置することから早期に安定化させるための場内浸透水の処理と長期間にわたるモニタリングが必要と認識している、これまでも皆様方と結んだ二次対策工事の協定に則り工事を進めてきたが工事後のモニタリングや有効性の確認についても皆様としっかり協議しながら進めてまいり、この処分場跡地は県有地にさせていただいたので所有者として引き続き責任をしっかりと果たしてまいりたい、とお答えしました。
- 3 テーマ3「将来に向けて」
  - ・ 再発防止やアーカイブの作成、跡地利用、景観対策等についてご意見をいただきました。
  - ・ 知事からは、徹底した監視指導を行いながらRD最終処分場問題のような事案が二度と発生しないよう再発防止に取り組んでいる、この問題をしっかりと教訓にしてアーカイブ等で検証していくことがご迷惑をかけたことに報いていく道であると考えている、跡地利用や景観対策については全国にどのような事例があるか、地元の皆様方のご要望はどうか、どういったことが考えられるのか、廃棄物処理法上どのような制約があるのかといった観点で幅広く議論を深めていくのがよいのではないかと考えており、地元の栗東市さんのお考え等もあろうと思うので来年度以降話し合いを丁寧に進めていきたい、とお答えしました。

※議事録については県のホームページに記載しています。

以下のURLにアクセスいただくとご覧いただけます。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/haikibutsu/315910.html>